



2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SUBARU
 コード番号 7270 URL <https://www.subaru.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部総務部長 (氏名) 齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825
 四半期報告書提出予定日 2017年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第1四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	854,770	11.1	119,344	17.5	119,273	0.4	82,326	4.4
2017年3月期第1四半期	769,378	0.5	101,540	△24.3	118,795	△8.7	78,866	△6.3

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 85,354百万円(85.1%) 2017年3月期第1四半期 46,105百万円(△51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	107.38	—
2017年3月期第1四半期	101.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第1四半期	2,781,207	1,495,531	53.5
2017年3月期	2,762,321	1,464,888	52.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 1,488,715百万円 2017年3月期 1,458,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	72.00	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,689,000	7.1	210,000	0.7	210,000	△7.8	145,000	△11.5	189.13
通期	3,420,000	2.8	410,000	△0.2	410,000	4.0	285,000	0.9	371.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期1Q	769,175,873株	2017年3月期	769,175,873株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	2,490,506株	2017年3月期	2,490,224株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期1Q	766,685,489株	2017年3月期1Q	780,377,869株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、自動車売上台数の増加および為替変動に伴う売上げの増加などにより、8,548億円と前年同期比854億円(11.1%)の増収となりました。

利益面につきましては、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加があったものの、自動車売上台数の増加および為替変動などにより、営業利益が1,193億円と前年同期比178億円(17.5%)の増益となり、経常利益につきましても、1,193億円と前年同期比5億円(0.4%)の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、823億円と前年同期比35億円(4.4%)の増益となりました。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高	営業利益 (利益率)	経常利益 (利益率)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (利益率)	為替レート
2018年3月期第1四半期	854,770	119,344 (14.0)	119,273 (14.0)	82,326 (9.6)	112円/米ドル 122円/ユーロ
2017年3月期第1四半期	769,378	101,540 (13.2)	118,795 (15.4)	78,866 (10.3)	111円/米ドル 124円/ユーロ
増減	85,392	17,804	478	3,460	
増減率	11.1	17.5	0.4	4.4	

[セグメントの状況]

当第1四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高				セグメント利益			
	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
自動車	724,474	812,202	87,728	12.1	99,319	116,790	17,471	17.6
航空宇宙	35,217	33,942	△1,275	△3.6	1,676	1,815	139	8.3
その他	9,687	8,626	△1,061	△11.0	349	1,227	878	251.6
調整額	—	—	—	—	196	△488	△684	—
合計	769,378	854,770	85,392	11.1	101,540	119,344	17,804	17.5

(注) 1. 売上高は、外部顧客への売上高であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

① 自動車事業部門

国内につきましては、登録車は「インプレッサ」および全面改良を行った「SUBARU XV」の販売が、また、軽自動車は「シフォン」の販売がそれぞれ好調に推移したことにより、売上台数の合計は4.0万台と前年同期比0.9万台(29.9%)の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において「インプレッサ」、「フォレスター」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は23.1万台と前年同期比1.7万台(7.9%)の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で18.9万台と前年同期比1.9万台(11.1%)の増加、ロシアを含む欧州で前年同期並みの1.0万台、豪州で1.4万台と前年同期比0.2万台(17.3%)の増加、中国で0.8万台と前年同期比0.2万台(16.0%)の減少、その他地域で0.9万台と前年同期比0.2万台(19.5%)の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は27.1万台と前年同期比2.6万台(10.7%)の増加となり、全体の売上高は、8,122億円と前年同期比877億円(12.1%)の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、1,168億円と前年同期比175億円(17.6%)の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の連結売上台数は以下のとおりです。

(単位 万台、比率：%)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
国内合計	3.1	4.0	0.9	29.9
登録車	2.5	3.3	0.9	35.5
軽自動車	0.7	0.7	0.1	8.9
海外合計	21.4	23.1	1.7	7.9
北米	17.0	18.9	1.9	11.1
欧州・ロシア	1.1	1.0	△0.0	△4.2
豪州	1.2	1.4	0.2	17.3
中国	1.0	0.8	△0.2	△16.0
その他地域	1.1	0.9	△0.2	△19.5
総合計	24.5	27.1	2.6	10.7

② 航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、哨戒機「P-1」の生産が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

民間向け製品では、「ボーイング777」の生産が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は339億円と前年同期比13億円(3.6%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましては、18億円と前年同期比1億円(8.3%)の増益となりました。

③ その他事業部門

売上高は86億円と前年同期比11億円(11.0%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましては、12億円と前年同期比9億円(251.6%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

① 資産の状況

総資産につきましては、2兆7,812億円と前期末に比べ189億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の増加185億円、受取手形及び売掛金の減少194億円、有形固定資産の増加155億円などです。

② 負債の状況

負債につきましては、1兆2,857億円と前期末に比べ118億円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務の減少249億円、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少384億円、未払法人税等の増加194億円、賞与引当金の増加120億円などです。

③ 純資産の状況

純資産につきましては、1兆4,955億円と前期末に比べ306億円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加276億円などです。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、7,467億円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は1,411億円(前年同四半期連結累計期間は621億円の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上1,182億円などです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は384億円（前年同四半期連結累計期間は647億円の減少）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）335億円などです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は884億円（前年同四半期連結累計期間は610億円の減少）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）384億円、配当金の支払540億円などです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,822	732,128
受取手形及び売掛金	158,454	139,052
リース投資資産	18,538	17,879
有価証券	320,579	265,789
商品及び製品	205,991	206,760
仕掛品	51,754	56,347
原材料及び貯蔵品	43,586	37,105
繰延税金資産	109,600	108,726
短期貸付金	176,433	180,142
その他	102,045	95,936
貸倒引当金	△551	△400
流動資産合計	1,845,251	1,839,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	178,464	179,732
機械装置及び運搬具(純額)	172,977	170,939
土地	183,477	184,194
賃貸用車両及び器具(純額)	11,609	27,876
建設仮勘定	45,416	48,855
その他(純額)	65,322	61,149
有形固定資産合計	657,265	672,745
無形固定資産		
その他	24,905	25,185
無形固定資産合計	24,905	25,185
投資その他の資産		
投資有価証券	105,510	112,741
退職給付に係る資産	931	227
繰延税金資産	20,922	20,787
その他	110,848	113,507
貸倒引当金	△3,311	△3,449
投資その他の資産合計	234,900	243,813
固定資産合計	917,070	941,743
資産合計	2,762,321	2,781,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,737	329,198
電子記録債務	92,098	87,730
短期借入金	43,205	44,058
1年内返済予定の長期借入金	44,443	30,217
未払法人税等	13,858	33,213
未払費用	221,328	211,347
賞与引当金	23,678	35,701
製品保証引当金	59,259	61,482
工事損失引当金	65	202
事業終了損失引当金	3,317	3,359
その他	162,750	186,302
流動負債合計	1,013,738	1,022,809
固定負債		
長期借入金	60,612	36,463
繰延税金負債	29,802	28,199
役員退職慰労引当金	536	418
退職給付に係る負債	18,615	19,057
その他	174,130	178,730
固定負債合計	283,695	262,867
負債合計	1,297,433	1,285,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,178	160,178
利益剰余金	1,173,277	1,200,845
自己株式	△7,173	△7,174
株主資本合計	1,480,077	1,507,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,099	9,040
為替換算調整勘定	△16,631	△15,716
退職給付に係る調整累計額	△10,996	△10,371
在外子会社のその他退職後給付調整額	△1,885	△1,882
その他の包括利益累計額合計	△21,413	△18,929
非支配株主持分	6,224	6,816
純資産合計	1,464,888	1,495,531
負債純資産合計	2,762,321	2,781,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上高	769,378	854,770
売上原価	555,084	597,078
売上総利益	214,294	257,692
販売費及び一般管理費	112,754	138,348
営業利益	101,540	119,344
営業外収益		
受取利息	763	1,161
受取配当金	360	365
持分法による投資利益	—	174
為替差益	5,808	5,685
デリバティブ評価益	11,323	—
その他	389	190
営業外収益合計	18,643	7,575
営業外費用		
支払利息	477	392
持分法による投資損失	62	—
デリバティブ評価損	—	6,483
その他	849	771
営業外費用合計	1,388	7,646
経常利益	118,795	119,273
特別利益		
固定資産売却益	15	115
投資有価証券売却益	52	92
その他	6	14
特別利益合計	73	221
特別損失		
固定資産除売却損	1,026	1,219
その他	41	57
特別損失合計	1,067	1,276
税金等調整前四半期純利益	117,801	118,218
法人税等合計	38,744	35,726
四半期純利益	79,057	82,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,866	82,326

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
四半期純利益	79,057	82,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,509	941
為替換算調整勘定	△32,250	1,263
退職給付に係る調整額	641	625
在外子会社のその他退職後給付調整額	248	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△82	30
その他の包括利益合計	△32,952	2,862
四半期包括利益	46,105	85,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,269	85,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△164	229

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,801	118,218
減価償却費	17,848	23,075
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△2
受取利息及び受取配当金	△1,123	△1,526
支払利息	477	392
固定資産除売却損益(△は益)	1,011	1,104
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△11	△51
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,275	△2,338
売上債権の増減額(△は増加)	9,898	15,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,058	△2,424
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,075	△24,286
未払費用の増減額(△は減少)	17,805	△9,885
その他	23,394	37,041
小計	165,680	155,251
利息及び配当金の受取額	1,116	1,509
利息の支払額	△574	△479
法人税等の支払額	△104,171	△15,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,051	141,060
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△10,731	152
有価証券の取得による支出	△21,957	△52,676
有価証券の売却による収入	11,958	54,254
固定資産の取得による支出	△26,471	△34,006
固定資産の売却による収入	612	502
投資有価証券の取得による支出	△8,498	△13,337
投資有価証券の売却による収入	5,165	8,867
貸付けによる支出	△39,334	△32,664
貸付金の回収による収入	24,627	30,431
その他	△34	106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,663	△38,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14,360	4,358
長期借入れによる収入	2,200	3,400
長期借入金の返済による支出	△10,494	△41,780
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△54,829	△54,011
非支配株主への配当金の支払額	△1,944	△46
その他	△274	△335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,981	△88,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,822	637
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83,415	14,912
現金及び現金同等物の期首残高	829,461	728,616
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△534
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	3,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	746,046	746,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 連結の範囲の重要な変更

ロビン アメリカ インク及びロビン ヨーロッパ GMBH インダストリアル エンジン アンド エクイップメントは、重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、決算日が連結決算日と異なるスバル オブ チャイナ LTD. については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は2017年4月1日から2017年6月30日までの3ヶ月間を連結し、2017年1月1日から2017年3月31日までの損益については利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	724,474	35,217	759,691	9,687	769,378	—	769,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,191	—	1,191	5,156	6,347	△6,347	—
計	725,665	35,217	760,882	14,843	775,725	△6,347	769,378
セグメント利益	99,319	1,676	100,995	349	101,344	196	101,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	812,202	33,942	846,144	8,626	854,770	—	854,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	763	—	763	5,025	5,788	△5,788	—
計	812,965	33,942	846,907	13,651	860,558	△5,788	854,770
セグメント利益	116,790	1,815	118,605	1,227	119,832	△488	119,344

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来報告セグメントとしていた「産業機器」については、2016年11月2日開催の取締役会において産業機器事業終了を決定したことに伴い、「その他」の区分に含めて記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。